

県内進学率 0.5ポイント増

今春卒高校生 進学者の37%

県教委は2日、今春の県内中学校、高校卒業生の進路実態調査結果を公表した。高校を卒業した7365人のうち大学・短大への進学者は4183人で、進学率は56.8%と前年を0.9ポイント上げた。進学先は県内が1557人と7人増え、割合も37.2%と前年比0.5ポイント増えた。【7面に関連記事】

進学率は、男子が53.3%で0.5ポイント減り、女子は60.3%で2.3ポイント増えた。県外の進学先は京都府の475人が最も多く、次いで石川県、大阪府、愛知県、東京都だった。学部別では社会科学が1059人と25.3%を占め最多だったが、割合は1.8ポイント減った。次いで理工学19.9%(0.7ポイント減)、人文科学14.2%(1.3ポイント増)だった。専修学校などへの入学は1316人で、高校卒業生の17.9%(0.8ポイント増)。就職者は1602人で21.8%(1.2ポイント減)だった。今春の中学校卒業生は7584人で、高校進学率は99.3%と0.1ポイント増え、過去最高となった。

県は、今年5月1日時点の児童生徒数を調べた学校基本調査の速報値も発表し、小学校が4万1801人で前年同期比376人減、中学校は2万1304人で469人減だった。小中一貫の義務教育学校は18人減の740人。総数は小学生4万2198人、中学生2万1647人で、ともに過去最少を更新した。高校は2万2265人(327人減)、特別支援学校は946人(25人減)だった。(小林真也)